

## □ 要請番号 (JL06617B06)

募集終了



| 国名    | 職種コード 職種   | 年齢制限 | 活動形態 | 区分        | 派遣期間 | 派遣隊次                          |
|-------|------------|------|------|-----------|------|-------------------------------|
| スリランカ | G182 小学校教育 |      | 個別   | 交替<br>3代目 | 2年   | ・ 2018/1 ・ 2018/2 ・<br>2018/3 |

## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

北部州政府

## 2) 配属機関名 (日本語)

北部州教育省教育局 (南ワウニア教育事務所)

## 3) 任地 (ワウニア県ワウニア) JICA事務所の所在地 (コロンボ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 7.0 時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

北部州教育省教育局は北部州5県の教育を管轄する部局で、州都ジャフナ県に位置し、小・中・高等学校の運営管理、巡回指導、研修などを行っている。2009年の紛争終結後はユニセフなどの国連組織やセーブ・ザ・チルドレンなどのNGO多数が学校改修を支援してきた。実際の活動先となる南ワウニア教育事務所には2015年8月から初代青年海外協力隊(JV)が活動、2016年11月から2代目の小学校教育JVが活動中で、小学校の巡回指導を行っている。同州のマナー県、キリノッチ県、ムラティブ県でも小学校教育JVが活動中で、ジャフナ県にも2017年8月に新規JVを派遣予定。南ワウニア教育事務所の職員数は約110名。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

長年の紛争で荒廃した当国北部地域は他地域に比べ経済・社会開発が遅れていることから、日本を含む各国からの復興支援が進められている。各県の教育事務所には小学校教育担当課長が各1名配置され、指導主事は担当地域の小学校の巡回指導や教員研修を行い、小学校教育の質向上を目指している。隊員は小学校の巡回指導やモデル校での活動を通して、教員の指導力や意識の向上に取り組んでいるが、定着には時間を要するため、継続的な支援が求められている。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

ボランティアは南ワウニア教育事務所に配属され、同僚と協力して以下の活動を行う。

1. 小学校を巡回し、担当地域の現状や子供を取り巻く状況を把握する。
2. 選定したモデル校で児童への直接指導を行いつつ、英語や算数の学力向上、低学力児童の支援、教具の効果的な使用法などについて教員への助言を行う。
3. 教員の指導力向上のための講習を行う。
4. 学校・教室環境の整備を支援する。
5. 他地域に派遣されている小学校教育隊員と連携して教材作成や講習会を行う。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

小学校施設、コピー機

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

同僚:

教育事務所小学校担当課長 50代男性  
指導主事 男性2名・女性1名(40-50代)

活動対象者:

小学校 77 校、教諭 508名 (実務経験 3-25年)、児童 約 10,000名

| 5) 活動使用言語 | 6) 生活使用言語 | 7) 選考指定言語 |
|-----------|-----------|-----------|
| その他       | その他       |           |

【資格条件等】

|              |          |          |     |
|--------------|----------|----------|-----|
| [免許]：(小学校教諭) | [学歴]：( ) | 備考：      |     |
| [性別]：( )     | 備考：      | [経験]：( ) | 備考： |

任地での乗物利用の必要性

自転車

【地域概況】

|                 |              |            |
|-----------------|--------------|------------|
| [気候]：(サバナ気候)    | 気温：(14～33℃位) | [電気]：(不安定) |
| [通信]：(インターネット可) | 電話可)         | [水道]：(安定)  |

【特記事項】

任地での活動・生活の使用言語はタミル語であるが、訓練所での派遣前訓練では英語を学習し、任国に赴任後、現地語学訓練にてタミル語を学習する。特別支援教育に対する知識や免許があれば尚よい。